

勿来工業高等学校建築科OB会 事務局だより

第5回 勿来工業高等学校 建築科OB会 総会



総会について

平成九年七月十二日(土)午後四時より、報徳苑においてOB会第五回総会が開催されました。

初めに榎田会長の挨拶があり、引き続き議事に入りました。事業報告等一通りの議案が承認されましたが、会則変更では今年度から終身会費制となりました。

次に第五号議案である役員改選では、会長以下、役員が一新されました。

新役員の名簿は別冊に掲載されていますが、新会長には三回生の本田博氏、事務局長は八回生の土田利夫氏となりました。今年度以後の活躍をお願い致します。

今回の総会には前回と同様約七十名程の出席がありました。OBが全体に会って生かされていく。我々OBが受ける心理的影響も結果が十分でなくても、『腹計り知れないものがあり、心躍る年の始めでもある』と、思いがけず、どれだけの力になります。



会長就任にあたり

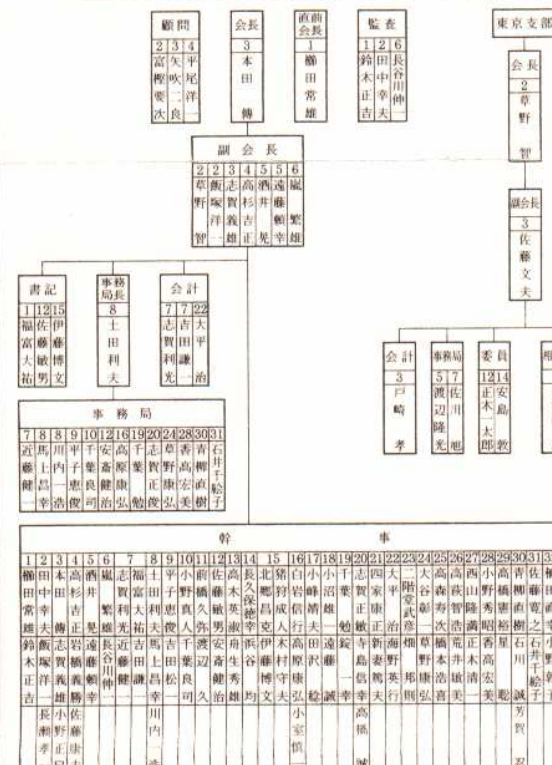
OB会会長 本 田 博

「勿来工業強し！全国高校ラケットボール大会5回の花園へ。」

「こんな思い出がある新聞記事は、他に吹奏楽部、弓道、陸上、空手、ウエイトリフティング等多くの部活で、後輩諸君の目覚ましい活躍が報道されています。

皆さんが歩み、思いがけず、自分が一所懸命に全力を尽くした事の成否や他人の評価もさることながら、肝心の自分に対して生かす意欲と決意がそこ

勿来工業高等学校建築科OB会組織図



建築科近況

科長 平尾 洋一



矢吹先生から建築主任を引き継ぎ、最終年の二年目になりました。この二年間は建築科にとって極めて多忙な時期でありましたが新実習棟にも慣れ、やっと落ち着いた時期です。

富岡、田村と私の六人です。

三十数年の間住み慣れた旧実習棟から新実習棟に移転し、授業スタイルも大きく変わりつつあります。

製図室が二つになり、一つは三年生専用で使用され、OA室には十年先の金額だったCADが最新のソフトで二十台、ネットワークを組まれました。これにより、時代に即したより充実した設計製図教育ができるものと期待が高まっています。また、

懇親会について

土田事務局長



天候に左右されなかった施設整備も室内で可能になり、工場の空調実験装置、構造実験装置なども今年度中に導入され格段に施設・設備が充実することになりました。

しかし、専門科目の履修単位が大幅に減少した状況下で、この新実習棟を今後どう使いこなしていくのか、教師に課せられた大きな課題であるといえます。

一方で、工業高校をとりまく環境は極めて厳しいものがあります。県内でも一部の工業高校の総合高校化が取りざたされ、来年度早々に高校統廃合のガイドラインが提示されることになっています。

いま、工業高校が改革の荒波にもまれ、存在そのものが問われており、勿来工業が生き残るためにも生徒たちの自覚ある学習と、我々教師のより一層の努力が求められる時代になってきました。

今後ともOB諸君の支援をいただきながら、生徒たちとをいっしょに歩んでいきたいと思っております。また、この二協力をよろしくお願いいたします。

社会人になって



小林 徳次

希望に燃えて社会人として第一歩をふみ出す時、誰しもまず考えることは、新しい環境にどう適応していくか、ということだと思います。職場や職種については、多少の知識をもっているとしても、それを支えている種々なルールについてはまだまだ白紙状態であります。職場が長い年月をかけて作り出したルールは職場の顔といってもいいでしょう。そのルールを理解することが、職場をいち早く理解することにもなると思います。

私の社会人になっての目標は、「言葉より実行」すべて仕事は実行がともなわなければ何の価値もないと思われ、それを実行するにあたっては努力の人のといわれるようになります。

社会人になって



遠藤 功子

私が社会人になって8ヶ月になりました。最初は何をしていたのか分からなかったがおおろしていただけで、今は少しずつ仕事の内容を覚えてきています。

入社後、1ヶ月の研修を経て単営住宅建設の現場配属になりました。しかし、測量をするのに、トランジットをおもむろに据付けられなくて、やしい思いをしました。その時、学校の実習は、実践での重要な基礎だったと痛感しました。また、仕事もそうですが、職人さんをはじめとする人達とのふれあいも大切だと感じました。

現場は毎日違った作業内容で進行していきます。そしてその建物が完成した時は感無量だといえます。これからそんなふうになれる様初心を忘れずがんばりたいと思っております。

現場紹介



今回ご紹介するのは、いわき市植田町で進められている「勿来工業高等学校南産棟改築工事」の現場です。

現在、築三十六年の鉄骨プレハブ造の実習棟の老朽化が激しく、落ちついて勉強できる環境ではなくなってきたため、今回の改築工事に着手することとなりました。

今回の工事は、渡辺組・クレハ建設JVの施工で、現場スタッフも勿来OBで六回生の小谷津英俊、十七回生の荒井治、二十八回生の根本祐基、三十一回生の遠藤寛昌が管理しています。